

第14回全国ボランティア学習研究フォーラム

茨城・水戸大会 募集要項

「市民が紡ぐ学びのかたち」 ～震災後に問うボランティア学習～

開催趣旨

2011年3月11日の東日本大震災は未曾有の災害であるだけでなく、人間が大きな社会的困難に直面した際の一人ひとりのありかたと対応を再認識させることになりました。

市民による市民のための社会の実現に向けて「ボランティア学習」の意義を研究・提唱してきた私たちは、これまでの取り組みの成果と課題の再評価を迫られています。

そこで、2011年度は、開催地を震災の被災地でもある茨城県水戸市の常磐大学を会場に「市民がつむぐ学びのかたち」をテーマに『第14回全国ボランティア学習研究フォーラム』を開催します。

ボランティア学習は、人間の主体性と社会性を編み上げる学びです。この学びは人の成長過程はもちろん、学校や地域における社会生活の中で培われていくものです。したがって、ボランティア学習は学校と地域の連携や協働の中で大きな成果を実現していく学びにほかなりません。

しかし、学校、家庭や地域社会においては、人と人のつながりを希薄なものへと進める方向に歯止めがかかりません。

こうした社会のあり方を、市民の参加によって改善していくことができるという仮説にたって、その担い手となる市民をいかに育むかが本大会の大きなテーマです。震災という社会的命題に向き合い、具体的な実践を踏まえてみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

学校・地域・家庭における教育の未来を切り拓く理論研究や実践活動をすすめている多様な分野のみなさまのご参加をお待ちしています。

主催： 日本ボランティア学習協会 JMS
後援： 茨城県教育委員会・茨城県社会福祉協議会（申請中）
期日： 2011年11月20日（日）9:30-17:00
会場： 常磐大学 茨城県水戸市見和1-430-1

INDEX

- 1 開催趣旨
- 2 基調報告
- 3 分科会・自由研究実践発表
- 4 参加申込方法

◆日本ボランティア学習協会（JMS）は、これまでボランティア活動のもつ潜在的な教育力についての国内や海外での調査研究や情報提供、教育実践プログラムの開発、国や自治体への政策提言などの諸活動をすすめています。

開場・受付開始 9:00～
開会式 9:30～

基調報告 (9:40-10:00)

東日本大震災では茨城県は被災県となり、地震・津波に加え福島県からの避難者の受け入れなど、震災の被災当事者と支援者の両者のあり方が問われることとなりました。ここから見えた絆の意味について考えます。

池田幸也 (常磐大学)

『アレックディクソン賞』授賞式(10:00-10:20)

“世界のボランティアの父”と呼ばれたアレックディクソン博士の業績を記念し、ボランティア学習について優れた活動を行った個人・団体の表彰を行います。

シンポジウム (10:30-12:30)

テーマ「震災から学ぶボランティア学習と市民の力」

震災では、地域の人と人の絆が再考されました。また、学校と地域の連携が改めて問われることになりました。こうした現状を踏まえて、子どもたちの学びの場とそのあり方や、学校と地域、教師と子ども、NPO等の市民組織とボランティアの関係と「これから」を考えます。

シンポジスト:

大滝 修 氏 (茨城県立取手松陽高等学校・地球市民教育プログラム推進室)

小野村 哲 氏 (リヴォルブ学校教育研究所)

佐川雄太 氏 (あしたの学校学級委員長)

コーディネーター: 池田幸也 (常磐大学)

分科会(14:00-16:00) * 詳細は3頁

自由研究発表(16:10-17:00) ○棟 201 教室

会員の研究成果を発表・協議する時間です。発表申込みは4頁をご覧ください。

情報交換会 (18:00-20:00)

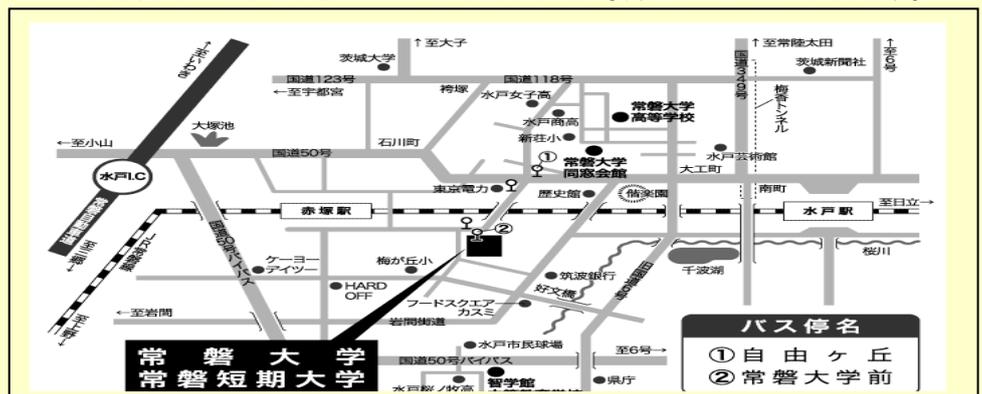
参加者の皆さんとの新たなネットワーク創出と交流の時間を設けました。ふるってご参加ください。◆会場: 水戸駅近くを予定 *参加費 4000円
大会参加の申し込みと同時に申し込みください。詳細は当日お知らせします。

11月20日(日)
会場:常磐大学
G棟 206 教室

会員総会
12:40-13:30
会場: G206 教室
詳細は4頁を参照

水戸駅から常磐大学へのアクセス
○水戸駅北口5番バス乗り場乗車
「自由ヶ丘」下車 徒歩 5分
水戸駅から所要時間約20分

※直接常磐大学経由のバスもありますが本数が限られていますので、自由ヶ丘が便利です。



分科会(14:00-16:00)

第1分科会「震災とボランティア活動」

震災は家族や地域の助け合いなど、身近な日常的な人のつながりの重要性を私たちに再認識させました。さらに、被災者支援や被災地の復興に向けた取り組みの模索は、ボランティアのあり方を問いかえています。分科会では具体的な被災者支援や被災地支援とのかかわりから、ボランティアの役割とその推進について検討します。

事例発表者: **小野村 哲 氏** (リヴォルブ学校教育研究所)

事例発表者: **久保田 三枝子氏** (茨城県北茨城市大津町 ボランティア連絡会)

コーディネーター: **中村英三 氏** (常磐大学)

第2分科会「学校と地域の人々との協働」

被災地の多くの学校は避難所となり、教職員をはじめ地域に人々がその運営に携わりました。また、子どもたちも避難所の中で様々な役割を担うなど、日常の学校生活とは異なる状況を生み出しました。これらから、日常の学校における地域社会の人々、組織・団体などとの連携・協働の重要性が明らかになりました。こうした視点にたち、学校と地域の日頃の連携について事例を踏まえて検討します。

事例発表者: **大滝 修 氏** (茨城県立取手松陽高等学校・地球市民教育プログラム推進室)

中村 瑞希氏 (筑波大学1年 茨城県立取手松陽高等学校卒業生)

事例発表者: **森田 聡 氏** (茨城県水戸市立五軒小学校)

コーディネーター: **長沼 豊 氏** (学習院大学)

第3分科会「学びを紡ぐファシリテーション」 ワークショップ

ボランティア学習はボランティア活動を通して多様な相互作用による学びを生み出します。この際、最も大切なことは出会った人と人の関わり、多様なキョウドウの実現です。この分科会では、学びの前提となる人間関係に着目し、ファシリテーションの手法と考え方を実践的に体験し、学びを豊かにする演習を行います。

ファシリテーター **徳田 太郎** (日本ファシリテーション協会)

第4分科会「ボランティア学習の理論と実際」

ボランティア学習の概念整理を行ったうえで、英国とアメリカのサービスラーニングの最新状況と課題を検討します。実践上の指針を確認することを目指します。

事例発表者: **橋本洋光氏**(東京女学館中・高等学校)「ボランティア学習の概念整理の試み」

事例発表者: **唐木清志氏**(筑波大学)「アメリカのサービスラーニングの現状と課題」

事例発表者: **興梠 寛氏**(昭和女子大学)「英国のシティズンシップ教育に学ぶ」

コーディネーター: **興梠 寛氏**(昭和女子大学)

第5分科会「若者によるボランティア学習の未来」

3月11日の大災害発生後には、多くの若者が「何かしたい」と思う一方「何をしたらよいのか分からない」という思いに駆られていた人も少なくありませんでした。震災後のボランティアに参加した者もいれば身近な地域で活躍した人もいました。若者によるボランティア活動のネットワーク作りに挑戦している人たちが集い、今とこれからの展望します。

事例発表者: **黒田太郎氏**(茨城町青年四季の会)

事例発表者: **塩田昌和 氏** (ノースマーク)

事例発表者: **斉藤理沙氏**(常磐大学震災ボランティアバスツアー参加チーム)

コーディネーター **森 照代 氏** (作新学院高等学校)

参加申込み

2011年 11月11日(金)まで

下記の参加申込書に必要事項を記入し、大会事務局まで郵送・FAX 又はメールでお送りください。

また、参加費は当日受付でお支払いください。

日本ボランティア学習協会会員のみなさま

会員総会を右のとおり行います。

会員総会 G206教室 11月20(日) 12:40-13:30

※ 昼食¥1,000(お弁当飲み物付)【予約制】 申込み書通信欄に<昼食希望>とご記入ください。

近くに飲食店がございませんので、昼食を事前に申込みいただくと安心です。

*** 理事会は大会前日 11/19(土) 18時より プレジデントホテル水戸(水戸駅南口徒歩5分)で行います。**

[水戸へのアクセス]上野駅から水戸駅 JR常磐線特急で約70分

「東京駅」から高速バス水戸線「自由ヶ丘」下車。所要約100分



**第14回全国ボランティア学習研究フォーラム
茨城・水戸大会 大会事務局**
〒310-8585 茨城県水戸市見和 1-430-1
常磐大学 池田幸也研究室
「フォーラム」係
電話番号:029-232-2962
FAX 番号:029-232-2962
メール: ikeday@tokiwa.ac.jp

日本ボランティア学習協会(JLS)事務局
〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-24-10 亜細亜大学1号館栗田研究
室内
電話&FAX 042-236-7326
info@volunteer-learning.jp
http://www.volunteer-learning.jp

<ホテルおよび観光案内> 水戸市観光協会サイト <http://www.mitokoumon.com/> をご利用ください。

第14回全国ボランティア学習研究フォーラム茨城・水戸大会参加申込書

(□にレを記入してください)

一般 会員 学生

*** お弁当 (飲み物付き 1,000円) ***

11月20日(日) 1,500円 1,000円 無料

* 大会会場近くに飲食店が少ないのでお弁当の
注文をお勧めします。○をつけて下さい↓

【昼食予約】 希望します 希望しません

参加希望分科会 (□にレを記入してください)

第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

◇ 自由研究発表の希望(会員のみ) あり なし ←○をつけて下さい

発表を希望される会員はテーマと要旨を800~1200字にまとめて
協会事務局までメールかファクスで10月31日までにお送りください。

◎ 情報交換会 11月20日 18:00-20:00 4,000円 水戸駅近く予定 ⇒ 参加希望 あり なし

お名前 [] 所属 []

〒 [] 住所 []

電話 [] メールアドレス []